

全国の介護支援専門員の皆様へ

一般社団法人  
日本介護支援専門員協会  
会 長 柴 口 里 則

介護支援専門員の皆様には年末の業務に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、例年に増して大きな負担と不安を抱えながらの業務をされている事と思います。

新型コロナウイルス感染症の第3波、これまで以上の拡大を見せており高齢者を支援する我々介護支援専門員にとっても憂慮すべきものです。また年末年始を迎え、人の移動によるリスクも高くなるのではという危機感も高まっています。

介護支援専門員が連携する医療・介護現場の逼迫した状況は、報道されている以上に深刻なものであり、医療崩壊・介護崩壊は皆様が支援する高齢者の生活に大きな影響を与えるものです。日本介護支援専門員協会としては医療崩壊・介護崩壊は絶対に起してはならないと考えています。

この危機的な状況を踏まえ、ぜひ皆様にもう一度「うつらない・うつさない」という原点に戻っていただきたいと思えます。これまで日本介護支援専門員協会が3回にわたり発信してきたポイントの図を添付いたしますので再度ご確認いただき、地域の医療介護の専門職の皆様と連携して感染拡大の防止に努めていただきますようお願いいたします。

当協会では、現場の実態及び必要な支援について厚生労働省やケアマネジメント推進議員連盟の議員の先生方と情報交換、連携等の活動をしているところです。さらなる現状把握に努めますので、会員の皆様におかれましては支部を通じてでも構いませんので、情報提供等いただければ幸いです。

なお、当協会は、介護保険サービス等に従事する皆様を対象に、新型コロナウイルス感染症対策の相談・質問に、チャットボットで自動応答するサービスを運用中です(厚生労働省令和2年度介護保険事業費補助金「介護分野における効果的な感染防止等の取組支援事業」)。自動応答に登録されていない内容はメールで個別にご相談いただけますので、是非ご活用ください。

最後にもう一度、繰り返しになりますが、利用者やその家族、共に支援に従事している医療・介護職の仲間のためにも、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

令和2年12月